



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 富士古河E&C株式会社

コード番号 1775

URL <http://www.ffec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榑井 丈一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 明石 亨 (TEL) 044-548-4500

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	40,525	1.4	701	52.5	859	42.9	541	87.5
25年3月期第3四半期	39,978	15.7	459	—	601	—	288	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 776百万円(82.5%) 25年3月期第3四半期 425百万円(— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	12.03	—
25年3月期第3四半期	6.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	34,521	11,493	31.4
25年3月期	36,192	10,941	28.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 10,855百万円 25年3月期 10,445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	2.7	2,000	5.6	2,150	2.5	1,250	10.1	27.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期3Q	45,132,809株	25年3月期	45,132,809株
26年3月期3Q	151,135株	25年3月期	149,075株
26年3月期3Q	44,982,928株	25年3月期3Q	44,984,737株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	9
(セグメント別受注高・売上高・営業損益・受注残高)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による金融政策や経済政策の効果等により、円安、株価上昇が進み、企業業績の改善や個人消費が持ち直すなど、景気は緩やかな回復が見られました。当社グループの属する設備工事業界におきましては、オリンピック・パラリンピックの2020年東京開催の決定や公共投資の堅調な推移、国内民間設備投資の持ち直しの動きなど明るい材料がある一方で、依然熾烈な受注価格競争が続き、加えて人手不足および労務費や資機材の高騰等により厳しい環境で推移しました。

当第 3 四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高492億円（前年同期比3.4%増）、売上高405億円（前年同期比1.4%増）、営業利益7億1百万円（前年同期比52.5%増）、経常利益8億59百万円（前年同期比42.9%増）、四半期純利益5億41百万円（前年同期比87.5%増）となり、当初の予定通り推移しております。

当社グループは平成25年4月に発表しました中期経営計画（『アクセル E & C 2015』）に基づき、「進化」と「変革」に向けた事業構造の転換および経営基盤の一層の強化を目指して、太陽光発電事業を始めとした再生可能エネルギー事業や I T F E 事業の拡大、タイにおいて空調設備事業の本格展開に着手するとともに平成25年9月にはインドネシアに現地法人を設立するなど海外事業の強化に取り組んでまいりました。また、コストダウンの一層の推進による収益力の向上、被災地に貢献するべく地域に密着した復興支援活動等に引き続き注力してまいりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりであります。

[建築・建築付帯設備]

当セグメントにおける受注高は86億円（前年同期比1.4%増）、売上高は69億円（前年同期比15.1%減）、営業利益は3億53百万円（前年同期比41.9%減）となりました。

電気分野では、受注高は前期には大型の製造事業所案件等がありましたが、公共案件等が堅調に推移したことから、ほぼ前期並みとなりました。売上高は前期には大型の製造事業所案件等があったことから減少し、営業損益も悪化しました。

建築・土木分野では、受注高・売上高・営業損益ともにほぼ前期並みとなりました。

[空調設備]

当セグメントにおける受注高は135億円（前年同期比22.2%増）、売上高は101億円（前年同期比13.9%減）、営業利益は2億95百万円（前年同期比143.4%増）となりました。

受注高は一般空調・衛生分野では中小規模の更新工事案件が伸長し、産業プロセス空調分野では新基盤事業である I T F E 案件や製造事業所案件等が伸長したことにより大幅に増加しました。

売上高は一般空調・衛生分野では製造事業所の新築案件および商業施設の更新工事案件等があったことから増加しましたが、産業プロセス空調分野では前期に大型案件があったことから減少しました。

営業損益は前期には大型の不採算案件があったことから改善しました。

[プラント設備]

当セグメントにおける受注高は228億円（前年同期比2.8%減）、売上高は208億円（前年同期比23.6%増）、営業利益は12億4百万円（前年同期比42.9%増）となりました。

社会システム分野では、主力である上下水道工事において新規案件が減少する中、更新工事の取り込みにより受注高・売上高ともに増加し、営業損益も改善しました。

エネルギーシステム分野では、太陽光発電や小水力発電、風力発電等の再生可能エネルギー関連工事があったことから受注高・売上高ともに大幅に増加し、営業損益も改善しました。

産業システム分野では、受注高は前期にはタイにおける鉄鋼関連をはじめとした大型案件等があったことから大幅に減少しました。売上高はカンボジア・ベトナムなど海外子会社が堅調に推移したことにより増加し、営業損益も改善しました。

[情報通信設備]

当セグメントにおいては、情報通信市場の価格競争の激化が依然続いており、受注高は22億円（前年同期比29.8%減）、売上高は14億円（前年同期比23.0%減）、営業損失は3億13百万円（前年同期は1億15百万円の営業損失）となりました。

市場環境の厳しさを踏まえて、採算性を重視したエリア戦略や固定費の圧縮等の事業構造改革に取り組んでまいります。

[その他]

当セグメントにおける受注高は19億円（前年同期比51.8%増）、売上高は11億円（前年同期比10.6%減）、営業利益は2億49百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ16億70百万円減少し、345億21百万円となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等の減少（75億25百万円）、未成工事支出金の増加（46億90百万円）、現金預金の増加（4億75百万円）、流動資産のその他に含まれる預け金の増加（2億42百万円）であります。

負債は、230億28百万円となり、22億22百万円減少しました。主な要因は、支払手形・工事未払金等の減少（27億82百万円）、その他に含まれる未払費用の減少（2億99百万円）、負ののれんの減少（1億35百万円）、未成工事受入金の増加（10億63百万円）であります。

純資産は、四半期純利益（5億41百万円）の計上を主因として5億51百万円増加し、114億93百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年 3 月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年 4 月24日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,089	2,565
受取手形・完成工事未収入金等	25,742	18,216
未成工事支出金	2,546	7,236
材料貯蔵品	159	200
その他	1,796	2,310
貸倒引当金	△31	△25
流動資産合計	32,303	30,504
固定資産		
有形固定資産	1,292	1,289
無形固定資産		
その他	202	148
無形固定資産合計	202	148
投資その他の資産		
その他	2,469	2,648
貸倒引当金	△75	△69
投資その他の資産合計	2,394	2,579
固定資産合計	3,889	4,017
資産合計	36,192	34,521
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,194	14,411
短期借入金	22	254
未払法人税等	600	167
未成工事受入金	1,635	2,699
完成工事補償引当金	65	73
工事損失引当金	197	418
その他	1,855	1,530
流動負債合計	21,571	19,555
固定負債		
退職給付引当金	2,982	2,924
負ののれん	271	135
その他	425	412
固定負債合計	3,679	3,473
負債合計	25,250	23,028

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 970	1, 970
資本剰余金	6, 703	6, 703
利益剰余金	1, 952	2, 264
自己株式	△23	△24
株主資本合計	10, 601	10, 913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	57
為替換算調整勘定	△174	△115
その他の包括利益累計額合計	△156	△57
少数株主持分	496	637
純資産合計	10, 941	11, 493
負債純資産合計	36, 192	34, 521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
売上高	39,978	40,525
売上原価	34,904	35,168
売上総利益	5,074	5,357
販売費及び一般管理費	4,614	4,656
営業利益	459	701
営業外収益		
受取利息	14	6
受取配当金	12	21
為替差益	3	—
負ののれん償却額	135	135
その他	18	22
営業外収益合計	185	186
営業外費用		
支払利息	11	9
コミットメントフィー	8	8
為替差損	—	1
ゴルフ会員権評価損	14	—
その他	9	9
営業外費用合計	44	28
経常利益	601	859
特別損失		
固定資産売却損	68	—
特別損失合計	68	—
税金等調整前四半期純利益	532	859
法人税等	163	223
少数株主損益調整前四半期純利益	368	635
少数株主利益	80	94
四半期純利益	288	541

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	368	635
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	39
為替換算調整勘定	48	101
その他の包括利益合計	56	140
四半期包括利益	425	776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321	639
少数株主に係る四半期包括利益	103	136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第 3 四半期連結累計期間(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注 1)	合計	調整額 (注 2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 3)
	建築・建築 付帯設備	空調設備	プラント 設備	情報通信 設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,129	11,754	16,892	1,889	38,666	1,312	39,978	—	39,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	4	—	4	—	4	△4	—
計	8,129	11,754	16,896	1,889	38,670	1,312	39,983	△4	39,978
セグメント 利益又は損失 (△)	607	121	843	△115	1,456	212	1,668	△1,208	459

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売及び補修・修理等のサービス部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,208百万円は、主に全社共通部門にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第 3 四半期連結累計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注 1)	合計	調整額 (注 2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 3)
	建築・建築 付帯設備	空調設備	プラント 設備	情報通信 設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,905	10,120	20,870	1,454	39,351	1,173	40,525	—	40,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3	—	3	—	3	△3	—
計	6,905	10,120	20,874	1,454	39,355	1,173	40,528	△3	40,525
セグメント 利益又は損失 (△)	353	295	1,204	△313	1,539	249	1,788	△1,087	701

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売及び補修・修理等のサービス部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,087百万円は、主に全社共通部門にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(セグメント別受注高・売上高・営業損益・受注残高)

区分				前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		前年同期 増減
				金額 (百万円)	※ 構成比・ 利益率 (%)	金額 (百万円)	※ 構成比・ 利益率 (%)	金額 (百万円)
受注高	報告セグメント	建築・建築付帯設備		8,521	17.9	8,643	17.6	121
		空調設備		11,072	23.2	13,532	27.5	2,460
		プラント設備		23,553	49.5	22,893	46.5	△659
		情報通信設備		3,184	6.7	2,236	4.5	△948
		小計		46,332	97.3	47,305	96.1	973
	その他		1,264	2.7	1,919	3.9	654	
	計		47,596	100.0	49,225	100.0	1,628	
売上高・ 営業損益	報告セグメント	建築・建築付帯設備	売上高	8,129	20.3	6,905	17.0	△1,224
			営業損益	607	(7.5)	353	(5.1)	△254
		空調設備	売上高	11,754	29.4	10,120	25.0	△1,634
			営業損益	121	(1.0)	295	(2.9)	173
		プラント設備	売上高	16,892	42.3	20,870	51.5	3,978
			営業損益	843	(5.0)	1,204	(5.8)	361
		情報通信設備	売上高	1,889	4.7	1,454	3.6	△434
			営業損益	△115	(―)	△313	(―)	△198
		小計	売上高	38,666	96.7	39,351	97.1	685
			営業損益	1,456	(3.8)	1,539	(3.9)	82
	その他	売上高	1,312	3.3	1,173	2.9	△139	
			営業損益	212	(16.2)	249	(21.3)	37
		調整額	売上高	―	―	―	―	―
			営業損益	△1,208	(―)	△1,087	(―)	121
	計	売上高	39,978	100.0	40,525	100.0	546	
		営業損益	459	(1.2)	701	(1.7)	241	
	受注残高	報告セグメント	建築・建築付帯設備		4,312	11.6	5,873	14.1
空調設備			7,187	19.4	10,056	24.1	2,868	
プラント設備			21,454	57.9	21,446	51.4	△8	
情報通信設備			3,913	10.6	3,368	8.0	△545	
小計			36,868	99.5	40,744	97.6	3,876	
その他		198	0.5	998	2.4	799		
計		37,067	100.0	41,742	100.0	4,675		

※ 1 受注高・売上高・受注残高については構成比を表示しております。

※ 2 営業損益は利益率を括弧で表示しております。